

2023年10月～12月活動報告

天塩町地域おこし協力隊 野口 裕康

活動の方針と見通し

10月から12月にかけては、天塩高校と筑波大学の高大連携教育に関わる活動が多く、町外のメディアに向けた取材対応や情報発信を行う機会も増えた。自身の天塩町協力隊としての任期も残り1年未満となり、2024年は起業に向けた準備・調査を主に行っていく予定としている。

活動記録

「地方創生☆政策アイデアコンテスト」の発表に向けた活動

高大連携ワークショップで天塩の夕日景観を活用した特産品について発表したグループ（6班）が12月9日に開催された内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト2023」に北海道地区代表として出場し、「夕日+α」というタイトルで発表を行った。天塩川河川公園への写真映えするブランコの設置や夕日をモチーフにしたクッキー・プリンといったスイーツのアイデアを提案した。

開催当日に向け、会場で放映される地域の紹介動画の制作や、特産品のアイデアを具体的なイメージにするための手段として生成AIの使い方の説明を行った。



▲生徒の意気込み動画の撮影



▲天塩高校生へ生成AIについてレクチャー



▲当日の放映動画



▲町内でのパブリックビューイングの様子



▲天塩高校6班の発表中継動画

天塩高校×筑波大学 高大連携シンポジウムのサポート

11月4日に開催された「高大連携シンポジウム」に天塩高校2年生のグループがオンラインで参加し、その中継会場で運営のサポートを行った。天塩高校は地域資源を活用した新たな名物のアイデアについて発表し、会場では鮭のライスコロッケ「コロしゃけ」の試作品が提供された。



▲「コロしゃけ」を試食する生徒

天塩町公認インスタグラマーへの食材提供

天塩町公認インスタグラマーのナヲさん (@nwosz) に提供する食材の収穫・発送を行った。町内の農園で栽培された椎茸やにんじん等に加え、自身が栽培したフェンネル（ハーブの一種）も提供した。調理された食材は、ナヲさんの料理「パンケ沼のわかさぎ天井とロヒケイト」の投稿としてインスタグラム上で公開されている。



▲今回提供を行った作物

「SMOUT」の取材対応

地域への移住に関する情報を発信するメディア「SMOUT」で掲載する、天塩町への移住をPRする記事の取材対応を行った。天塩町の魅力や移住の経緯、および雄信内地区での活動内容について、以下のページの記事内で紹介されている。



▲ SMOUT で公開中の記事

町民文化祭での作品展示

10月12日～15日に開催された天塩町民文化祭にて、これまで天塩町を何度も訪問し滞在した経験のある写真家・野口花梨さんの作品展示を行った。文化祭で展示された作品の一部は、現在天塩町役場の入口付近のスペースで展示されている。



▲文化祭での展示の様子

日本・アラスカ姉妹都市会議への参加

12月20日に開催された在アンカレジ領事事務所主催による姉妹都市会議にオンラインで参加し、実際に姉妹都市を訪問しての交流が再び盛んになってきていることや、天塩町の姉妹都市であるアラスカ・ホーマー市のとの今後の交流について情報交換が行われた。



▲オンライン会議の様子

「開発こうほう・新春座談会」への出席

北海道開発協会から発行されている広報誌「開発こうほう」1月号に掲載された、協力隊による地域の活性化をテーマとした新春座談会に出席し、地域での取り組みや課題・今後の方針について意見交換・議論を行った。



▲「開発こうほう」1月号・新春座談会

「多文化共生・交流会」開催のサポート

天塩町内で就業・居住している外国人労働者（技能実習・特定技能）と町民との交流・相互理解を図るため、外国人材受入促進のための「多文化共生・交流会」が10月30日に開催され、事前準備および多言語翻訳システムの設定、会場設営等のサポートを行った。参加した外国人の方々が同じテーブルに座っている日本人参加者と積極的にコミュニケーションをとり、日常生活の悩みや母国の習慣といった話題で盛り上がる様子が印象的であった。

その他の活動・参加イベント等

啓徳小学校放課後学習サポート（計3回：10月17日、11月13・27日）

留萌管内市町村若手職員地域力向上研修（11月19～20日）

議会事務局「まちのこえ」取材対応（12月6日）